



NIRECO
Trusted Partner

株式会社ニレコ

**2022年3月期
第2四半期決算説明資料**

(証券コード：6863)

2021年11月12日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

業績推移

21/3期上期

22/3期上期

22/3期計画

受注高 3,397百万円
(20/3期上期比▲7%)

受注高 5,111百万円
(21/3期上期比+51%)

受注高 9,500百万円
(前期比+28%)

売上高 3,620百万円
(20/3期上期比▲12%)

売上高 4,019百万円
(21/3期上期比+11%)

売上高 9,000百万円
(前期比+14%)

営業利益 341百万円
(20/3期上期比▲30%)

営業利益 253百万円
(21/3期上期比▲26%)

営業利益 700百万円
(前期比+17%)

実績及び計画

重点テーマ

- ◆ 市場の拡大
- ◆ 技術の進化
- ◆ 株主還元

いかなる環境下においても成長できる体制の実現

事業基盤の拡大強化

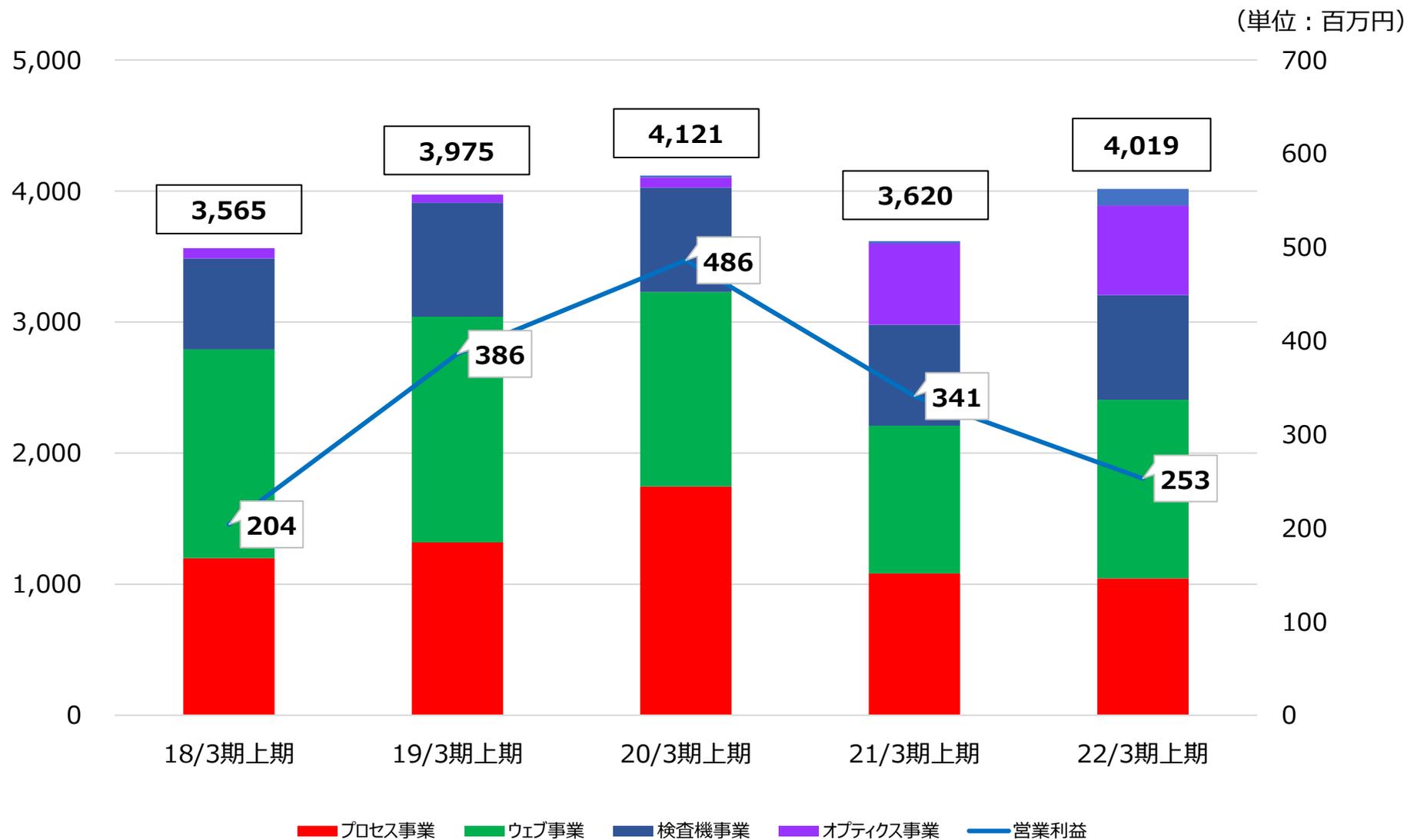
競争優位性の向上

22/3上期の取組み

- 光学分野への事業展開強化
- リモートワークなど、事業効率化の追求
- グループシナジーの創出
- 株主還元策の強化

連結配当性向40%以上かつ連結自己資本配当率（DOE）2%以上

上期業績推移



※18/3期以前の光学事業の表示は、従来の「その他」の数値を基に記載しています。

1. 上期実績及び今期計画
2. 持続的成長に向けて
3. トピックス

1. 上期実績及び今期計画

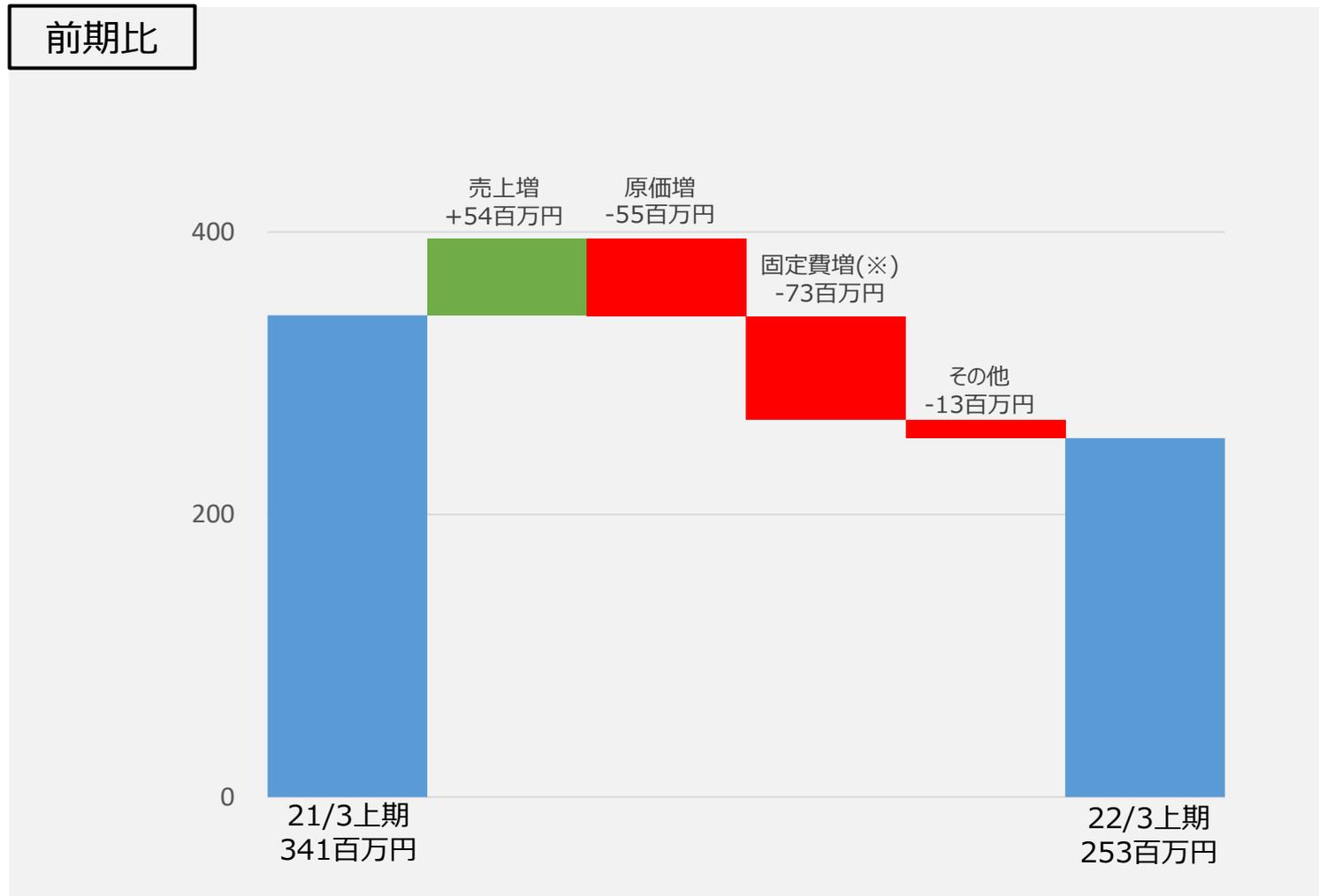
連結実績

➤ 景気回復に伴い受注が増加し、売上高及び各利益項目は当初計画を上回った

(単位：百万円)

	21/3期	22/3期		増減率	
	上期実績	期初計画	上期実績	前期比	計画比
受注高	3,397	4,300	5,111	+50%	+19%
売上高	3,620	3,800	4,019	+11%	+6%
営業利益	341	180	253	▲26%	+41%
営業利益率	9.4%	4.7%	6.3%	-	-
経常利益	335	210	293	▲13%	+40%
経常利益率	9.3%	5.5%	7.3%	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	212	150	182	▲14%	+21%
当期純利益率	5.9%	3.9%	4.5%	-	-
1株当たり当期純利益(円)	29.10	20.46	24.90	▲14%	+22%
受注残高	3,144	3,414	4,006	+27%	+17%

営業利益増減要因



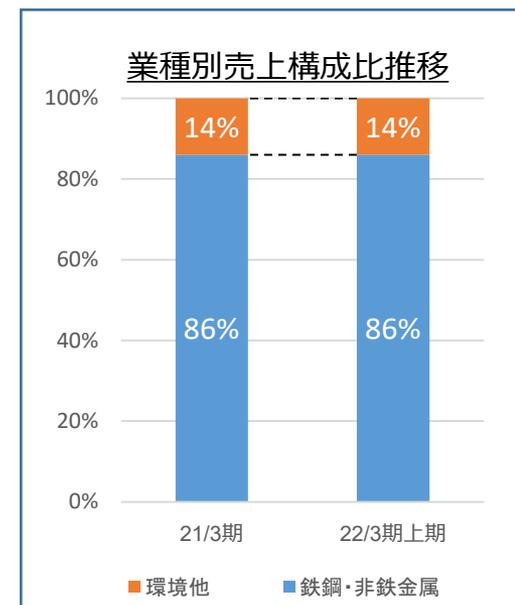
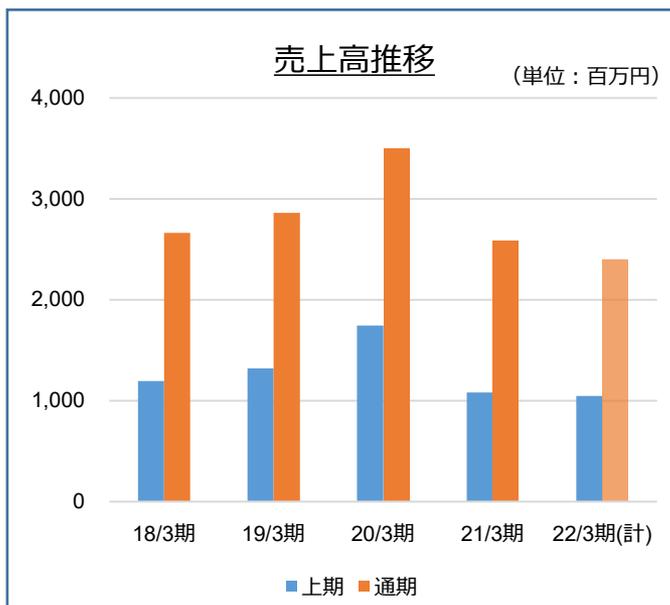
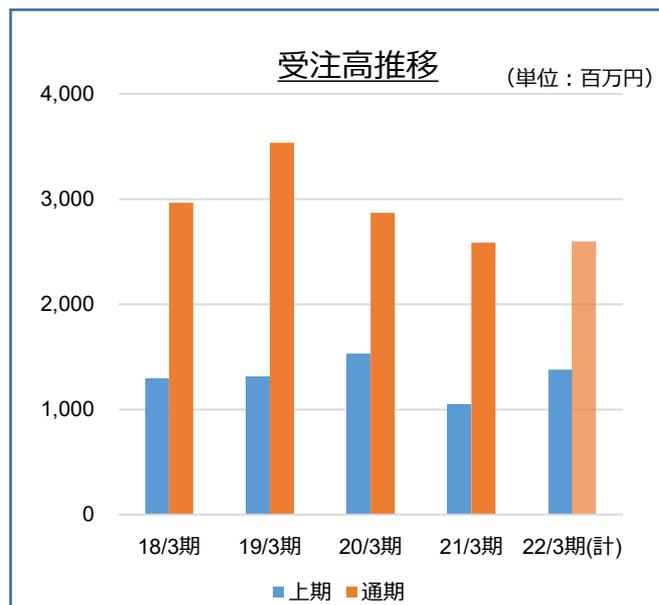
※固定費 = 販売費及び一般管理費

プロセス事業

- 前期の鉄鋼業界の設備投資抑制影響により、上期の売上高は対前期比で減少
- 鉄鋼業界の業績回復を受け、受注は回復基調

(単位：百万円)

	21/3期	22/3期		計画	
	上期実績	上期実績	前期比	通期計画	上期進捗率
受注高	1,054	1,378	+31%	2,600	53%
売上高	1,081	1,045	▲3%	2,400	44%
セグメント利益	203	89	▲56%	300	30%
セグメント利益率	18.8%	8.6%	-	12.5%	-



ウェブ事業

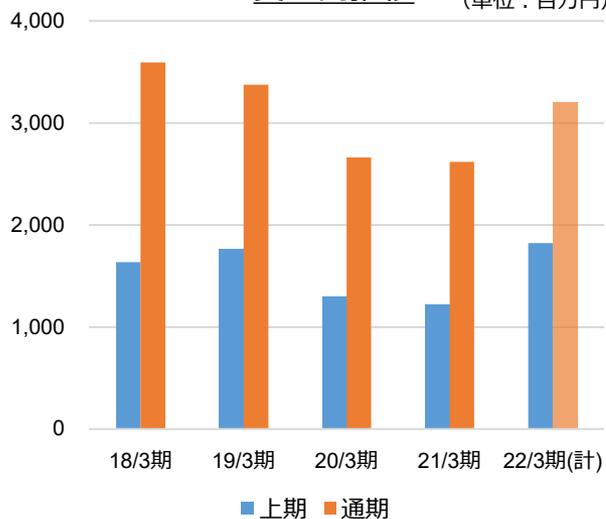
- 二次電池業界の需要を中心に、受注、売上高が大きく回復
- 需要は足元も引き続き堅調。一部製品納期長期化により、受注残高拡大

(単位：百万円)

	21/3期	22/3期		計画	
	上期実績	上期実績	前期比	通期計画	上期進捗率
受注高	1,221	1,823	+49%	3,200	57%
売上高	1,129	1,361	+21%	3,000	45%
セグメント利益	138	157	+14%	400	39%
セグメント利益率	12.3%	11.6%	-	13.3%	-

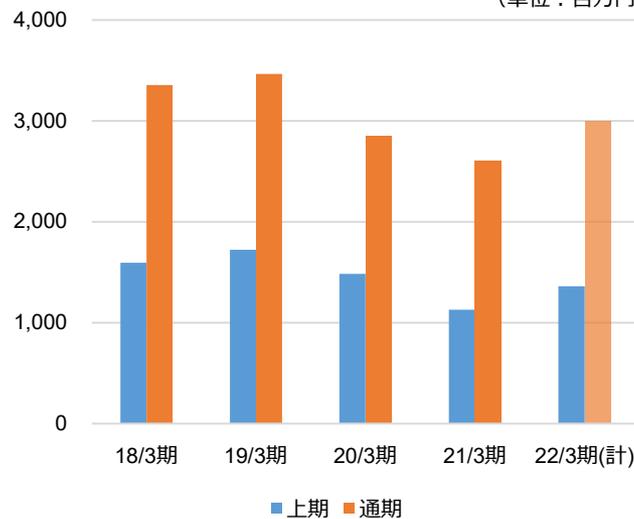
受注高推移

(単位：百万円)

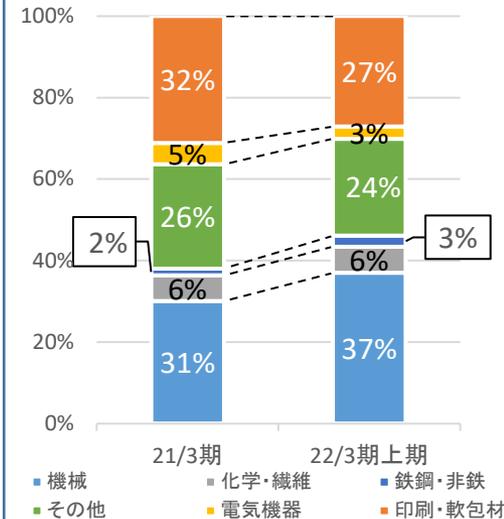


売上高推移

(単位：百万円)



業種別売上構成比推移



検査機事業

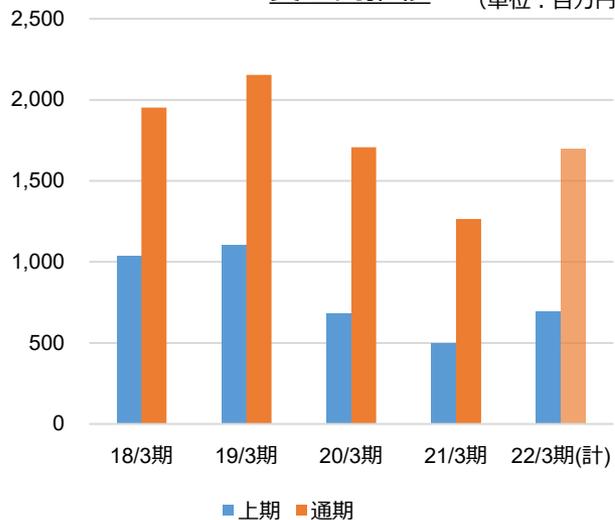
- 検査装置需要は、顧客の設備投資が慎重ながらも本格回復の兆し
- 新製品「Mujiken-EX」や食品検査装置の拡販注力

(単位：百万円)

	21/3期	22/3期		計画	
	上期実績	上期実績	前期比	通期計画	上期進捗率
受注高	498	693	+39%	1,700	41%
売上高	769	800	+4%	1,800	44%
セグメント利益	31	33	+4%	150	22%
セグメント利益率	4.1%	4.1%	-	5.0%	-

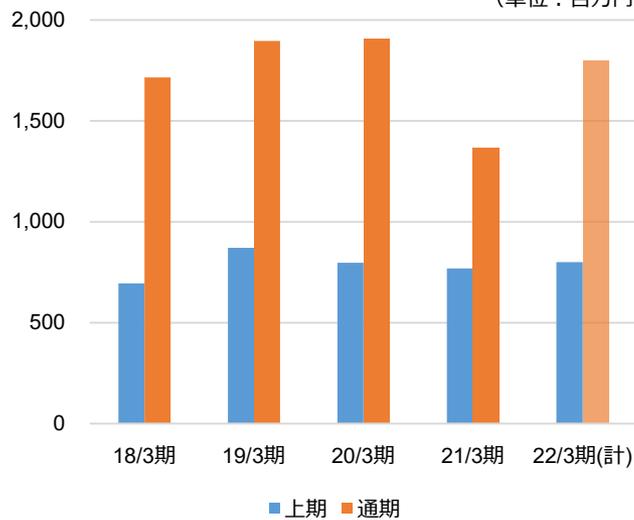
受注高推移

(単位：百万円)

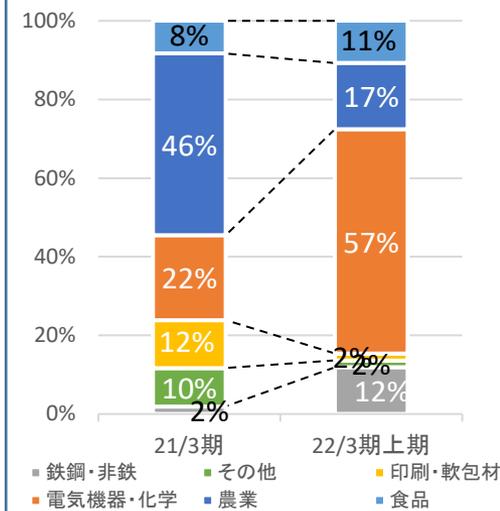


売上高推移

(単位：百万円)



業種別売上構成比推移



オプティクス事業

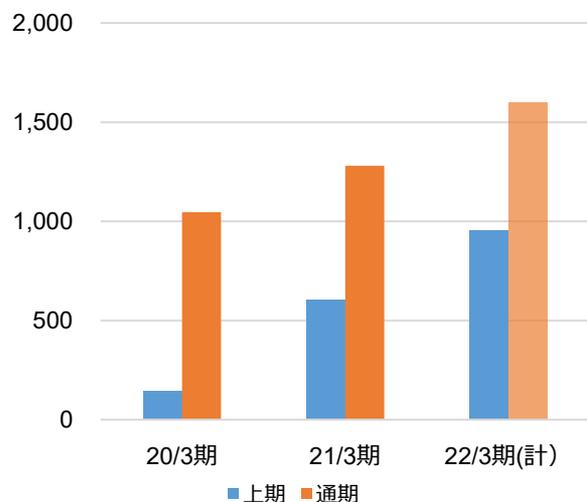
- 半導体検査装置向け光学部品好調維持
- 足元の受注堅調、受注高・受注残高拡大

(単位：百万円)

	21/3期	22/3期		計画	
	上期実績	上期実績	前期比	通期計画	上期進捗率
受注高	604	954	+58%	1,600	60%
売上高	621	684	+10%	1,450	47%
セグメント利益	206	182	▲12%	350	52%
セグメント利益率	33.3%	26.6%	-	24.1%	-

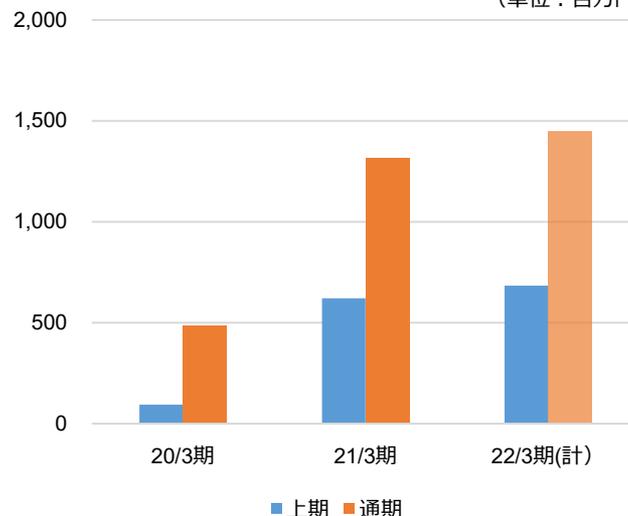
受注高推移

(単位：百万円)

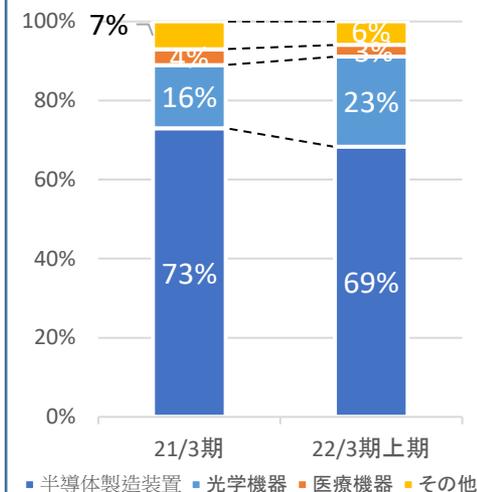


売上高推移

(単位：百万円)



業種別売上構成比推移



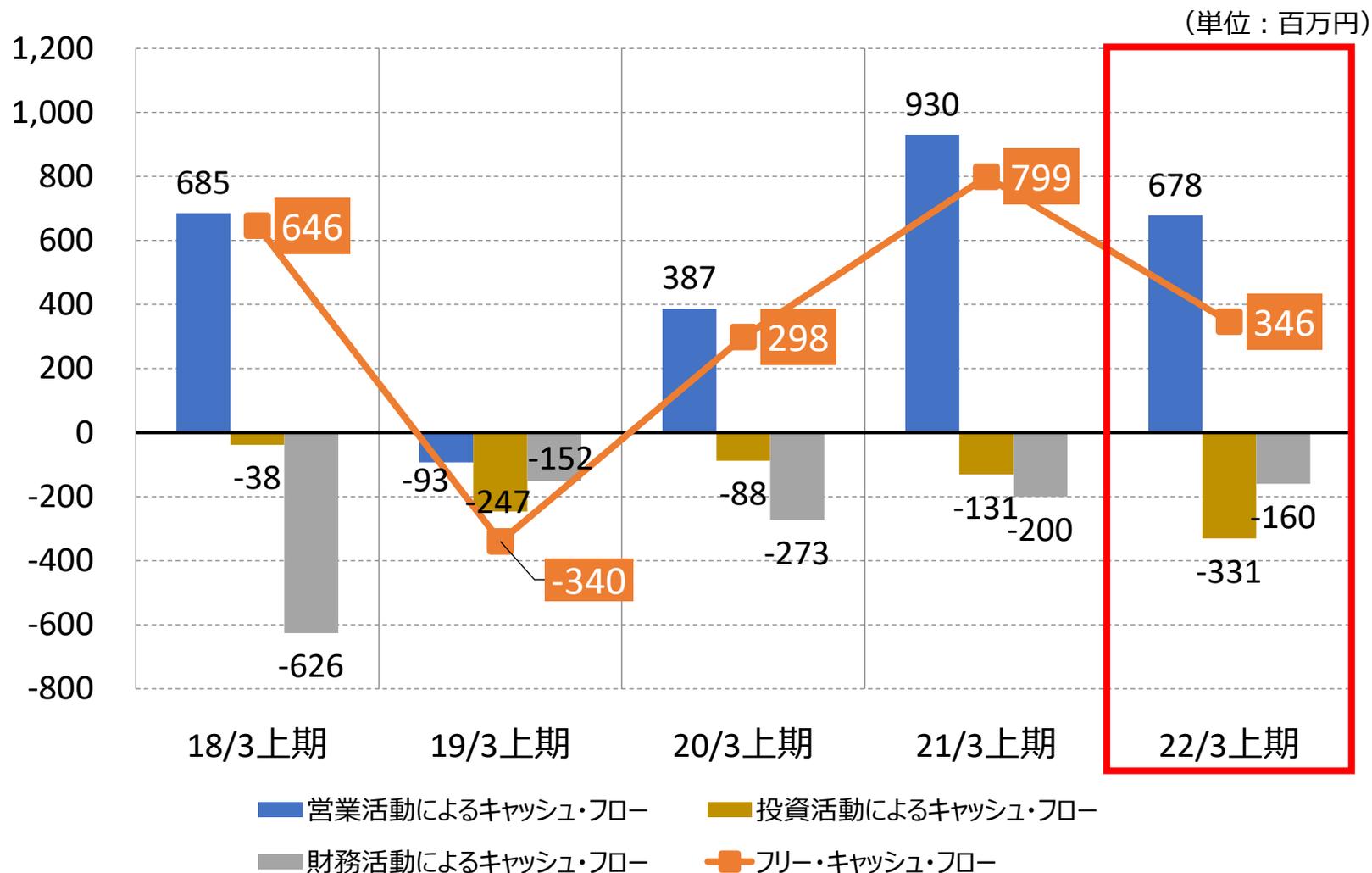
※オプティクス事業は20/3期より区分し、20/3期上期の受注高、売上高推移については、従来の「その他」区分を記載しています。

貸借対照表

(単位：百万円)

	21/3期		22/3期上期		前期末比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
現金・預金	4,679	30.5%	4,899	30.5%	+ 220
売上債権	3,570	23.3%	3,362	21.0%	▲ 208
棚卸資産	1,986	13.0%	2,111	13.2%	+ 125
その他流動資産	166	1.1%	145	0.9%	▲ 21
流動資産	10,403	67.9%	10,518	65.6%	+ 115
有形固定資産	2,934	19.1%	3,320	20.7%	+ 386
無形固定資産	207	1.4%	285	1.8%	+ 78
投資その他資産	1,779	11.6%	1,911	11.9%	+ 132
固定資産	4,921	32.1%	5,518	34.4%	+ 597
資産合計	15,324	100.0%	16,037	100.0%	+ 713
買入債務	351	2.3%	470	2.9%	+ 119
その他流動負債	996	6.5%	1,132	7.1%	+ 136
流動負債	1,347	8.8%	1,603	10.0%	+ 256
固定負債	450	2.9%	686	4.3%	+ 236
負債合計	1,797	11.7%	2,289	14.3%	+ 492
自己資本	13,457	87.8%	13,664	85.2%	+ 207
純資産合計	13,527	88.3%	13,747	85.7%	+ 220
負債・純資産合計	15,324	100.0%	16,037	100.0%	+ 713

キャッシュ・フローの状況



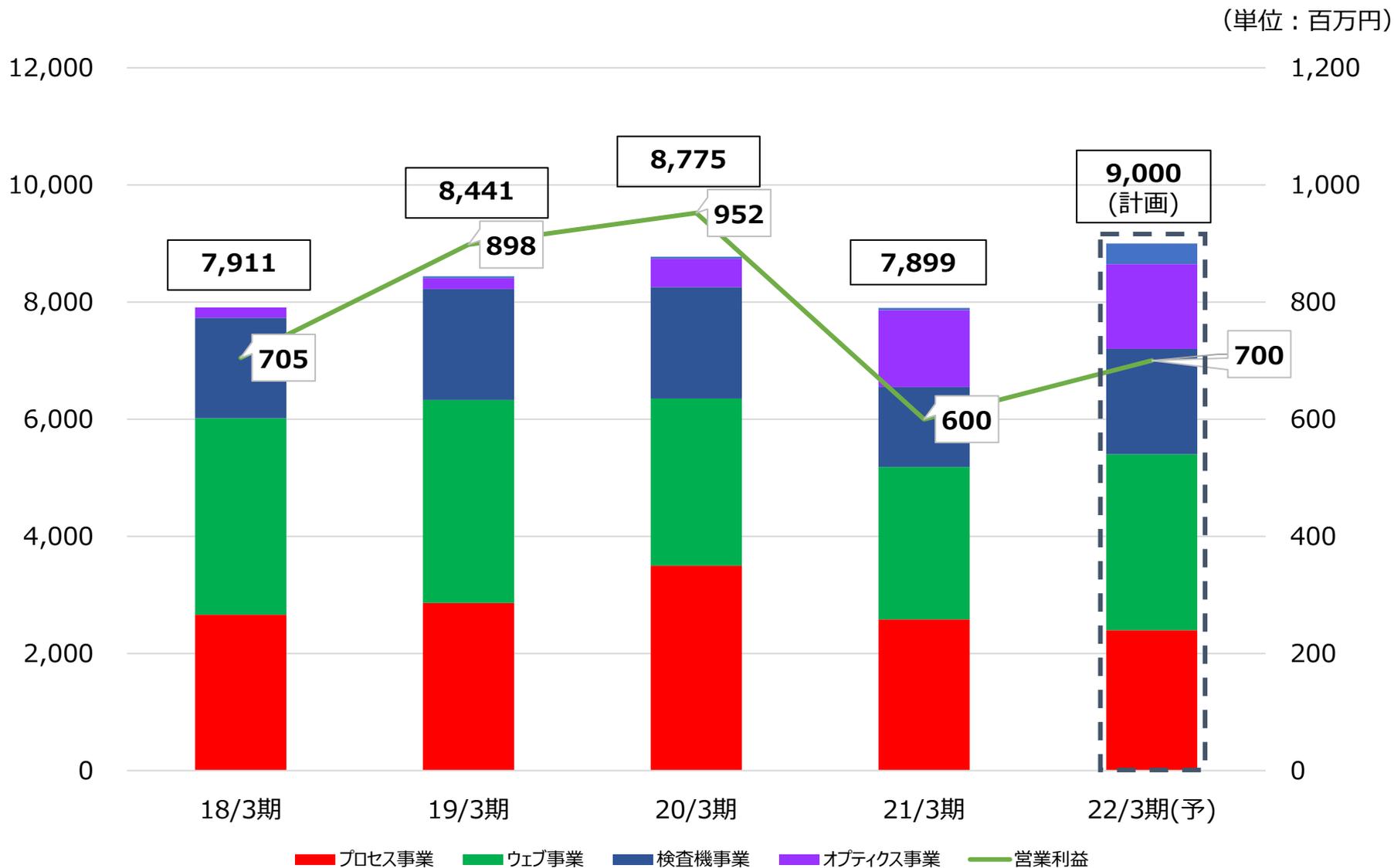
今期計画

➤ 上期の実績及び足元の状況から、業績見通しを上方修正

(単位：百万円)

	21/3期 実績	22/3期 修正前計画	22/3期 新計画	増減率 実績比	増減率 修正前計画比
受注高	7,447	8,800	9,500	+28%	+8%
売上高	7,899	8,500	9,000	+14%	+6%
営業利益	600	650	700	+17%	+8%
営業利益率(%)	7.6%	7.6%	7.8%	-	-
経常利益	635	700	750	+18%	+7%
経常利益率(%)	8.0%	8.2%	8.3%	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	432	500	520	+20%	+4%
当期純利益率(%)	5.5%	5.9%	5.8%	-	-
1株当たり当期純利益(円)	59.06	68.22	70.94	+20%	+4%
受注残高	2,914	3,214	3,714	+27%	+16%

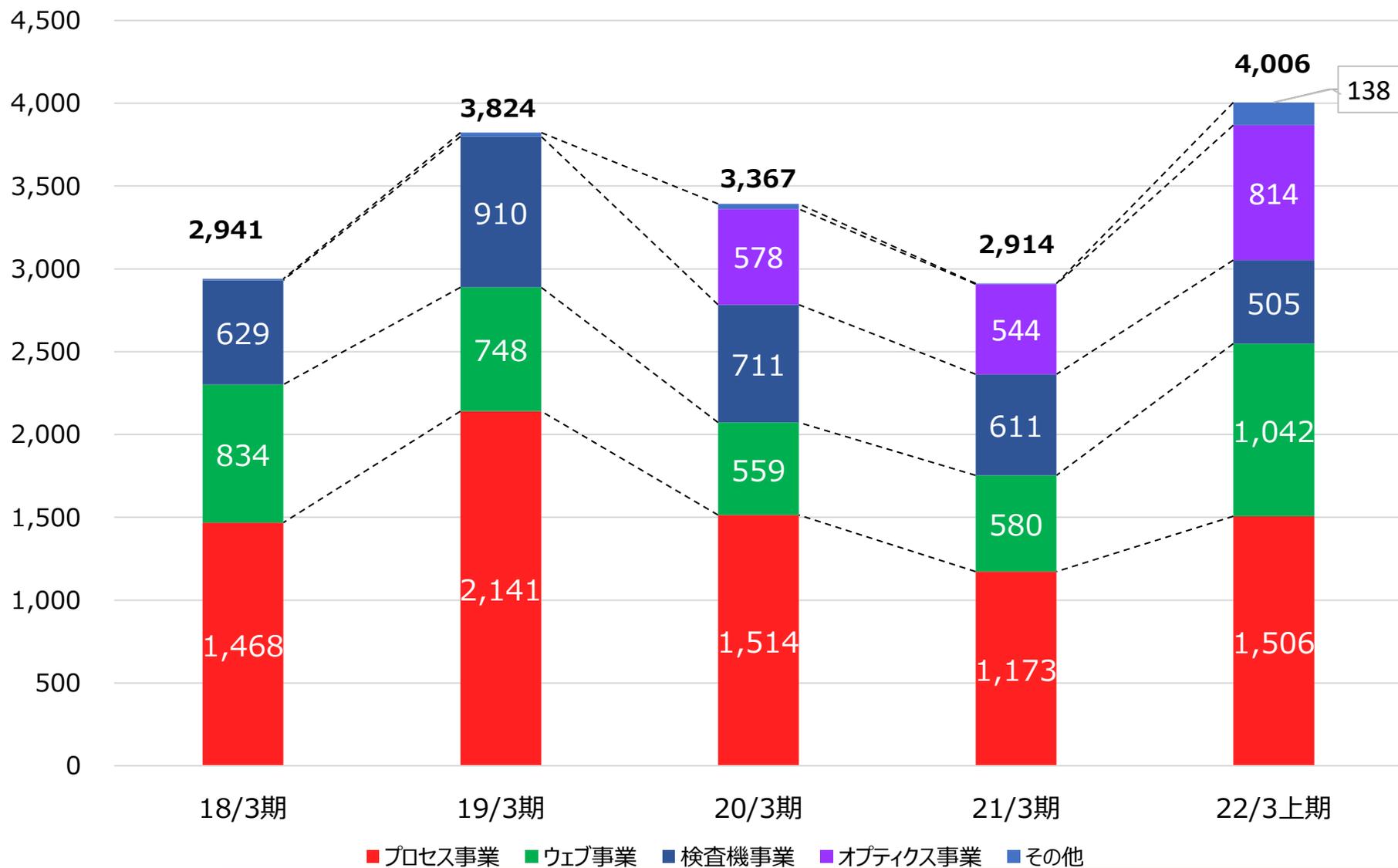
業績推移



※18/3期以前の光学事業の表示は、従来の「その他」の数値を基に記載しています。

受注残高状況推移

(単位：百万円)



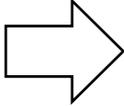
2. 持続的成長に向けて

持続的成長に向けた重点テーマ

いかなる環境下においても成長できる体制の実現

市場の拡大

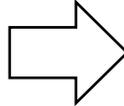
- 海外展開の推進強化
- 検査機事業の強化・オプティクス事業の強化
- 新製品開発による新事業分野の開拓



事業基盤の拡大強化

技術の進化

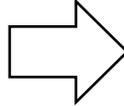
- 画像解析技術の高機能化による製品展開
- 光応用技術による製品開発



競争優位性の向上

経営体質の強化

- 既存事業の収益改善
- グループ・外部との連携強化によるシナジー最大化
- 競争力強化のための人的投資、並びにインフラ投資



経営基盤の強化

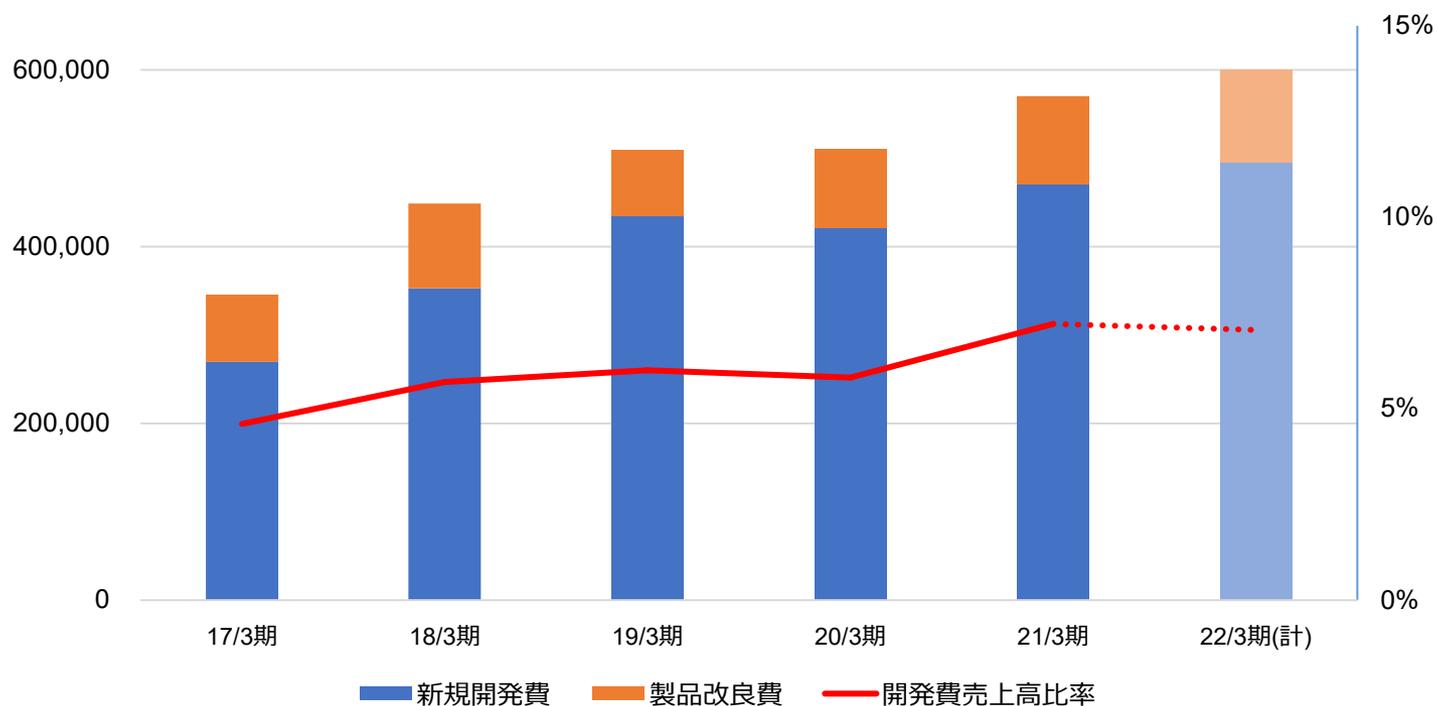
R&D

- 強みを持つ技術を活用し、新たな収益源の創出に向け、開発案件への取組みを加速

主な開発テーマ

- 次世代検査機・計測装置の開発
- レーザー技術による製品開発
- 磁界、高周波技術による製品開発
- 近赤外分光分析装置の用途開発

(単位：千円)



3. トピックス

株主還元方針を変更

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要政策の一つと考えており、従来より配当性向を指標として安定的な配当を実施してまいりました。

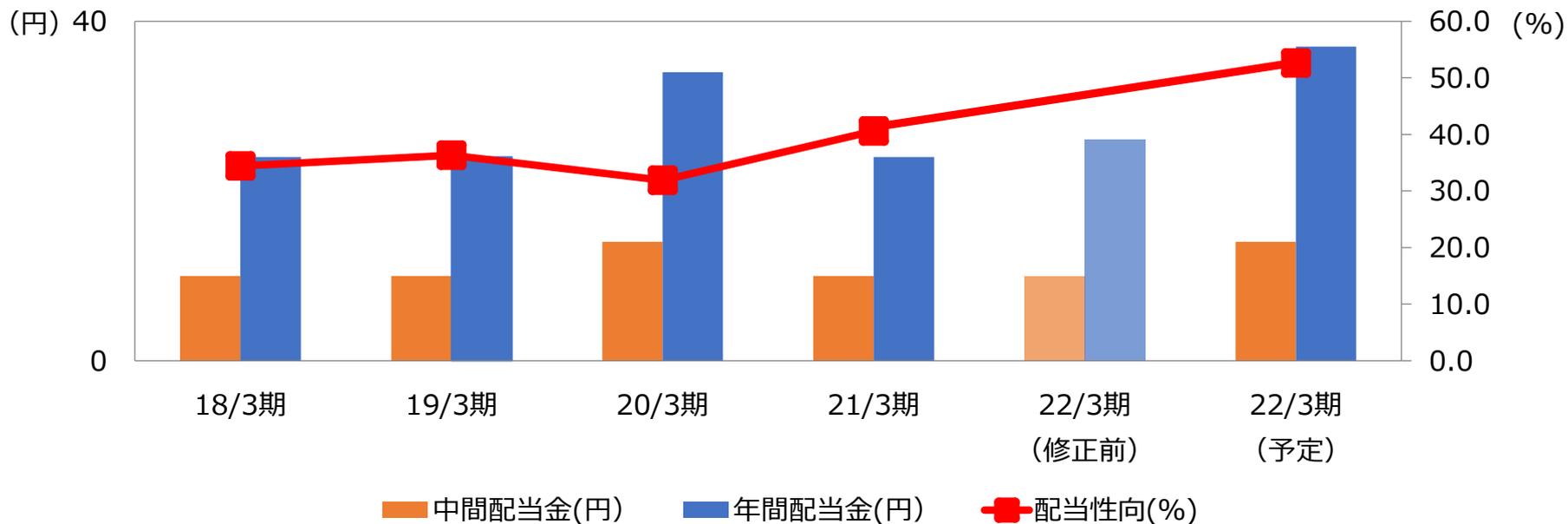
この度、株主還元の強化と財務健全性の両立を図り、短期的な収益変動に左右されにくいより安定的な配当を実現すべく、株主還元方針を変更いたしました。

変更内容は下記の通りです。

株主還元方針変更前	変更後
<p>株主の皆様への利益還元を示す指標として<u>連結ベースの配当性向を重視し、安定配当の維持を基本に目標値を35%</u>と定め、その実現を目指す。</p>	<p>株主の皆様への利益還元を示す指標並びに目標値を<u>連結配当性向40%以上かつ連結自己資本配当率（DOE）2%以上</u>と定め、その実現を目指す。</p>

株主還元について

連結配当性向40%以上かつ連結自己資本配当率（DOE）2%以上



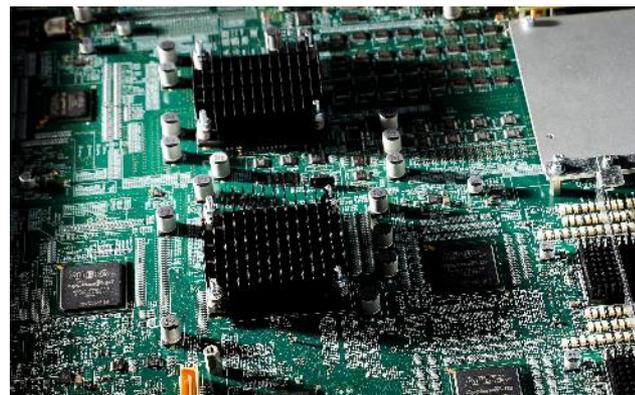
	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期 (修正前)	22/3期 (修正後予定)
中間配当金(円)	10	10	14	10	10	14
年間配当金(円)	24	24	34	24	26	37
配当性向(%)	34.4	36.3	31.9	40.6	38.1	52.6
自己資本配当率(%)	1.5	1.4	2.0	1.3	1.4	2.0

トピックス

電気機器メーカー 西武電機株式会社がグループ会社に

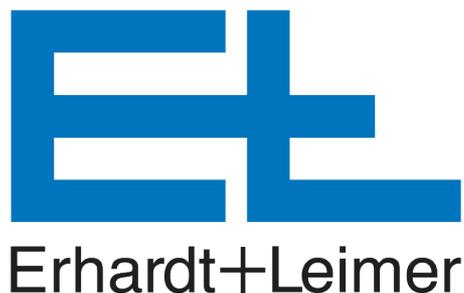
西武電機(株)が2021年6月より当社グループに加わりました。当社グループの新製品の開発力強化や迅速化を図ると共に、グループのシナジーにより西武電機の事業拡大を進めてまいります。

(1) 名称	西武電機株式会社
(2) 所在地	東京都八王子市狭間町1458-7
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 三吉 昭
(4) 設立年月日	1988年11月1日
(5) 事業内容	電子機器、情報機器、各種機器の開発および製造 各種OEM商品の開発および製造 評価・認証取得の代行、各種試験の代行 電子部品・機構部品の調達
(6) 資本金	10百万円



エアハルト ライマー製品の販売を開始

本年3月に業務提携契約を締結したドイツのウェブ制御機器メーカーエアハルト ライマー（Erhardt+Leimer GmbH、以下「E+L社」）の製品販売活動を開始いたしました。当社は日本国内の紙、印刷、フィルム業界及びその他特殊用途向けに、E+L社のウェブ制御製品の販売、サービスの提供を行い、ユーザーニーズに適したソリューションを提供してまいります。今後、他の分野における協力関係についても強化してまいります。



ラベル印刷用印刷画像検査装置
SMARTSCAN



ウェブガイド装置
ELGUIDER DRB14

E+L社はドイツのアウグスブルクに本社を置く1919年創業のウェブ制御機器メーカーで、世界15か国に1,600名以上の従業員を擁するグローバル企業です。

参考資料

会社概要

会社名	株式会社ニレコ
代表取締役社長	久保田 寿治
本社所在地	東京都八王子市石川町2951-4
設立	1950（昭和25）年11月
上場市場	東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）
資本金	3,072百万円*
連結従業員数	427名*
連結売上高	7,899百万円*

* 2021年3月期連結ベース

沿革

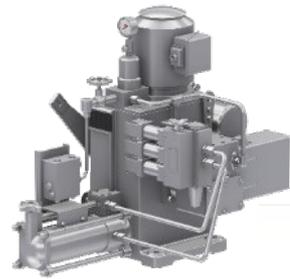
- 1950年 : 東京都中央区に日本レギュレーター株式会社を設立
- 1979年 : 東京都八王子市に本店を移転
- 1984年 : 商号を「株式会社ニレコ」に変更
- 1989年 : 日本証券業協会に株式を店頭公開
- 1990年 : ミスミ電子株式会社（現ミヨタ精密株式会社）を子会社化
- 1998年 : 仁力克股份有限公司を子会社化（台湾）
- 2003年 : 尼利可自動制御機器（上海）有限公司を設立（中国）
- 2004年 : JASDAQ証券取引所（現東京証券取引所JASDAQ（スタンダード））に上場
- 2014年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.を設立（韓国）
- 2017年 : 株式会社メガオプトを子会社化
- 2018年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.が土地・建物取得し生産体制整備
- 2019年 : Nireco International GmbHを設立（ドイツ）
 - 株式会社メガオプトを吸収合併
 - 株式会社光学技研を子会社化
- 2021年 : 西武電機株式会社を子会社化

「技術と信頼」

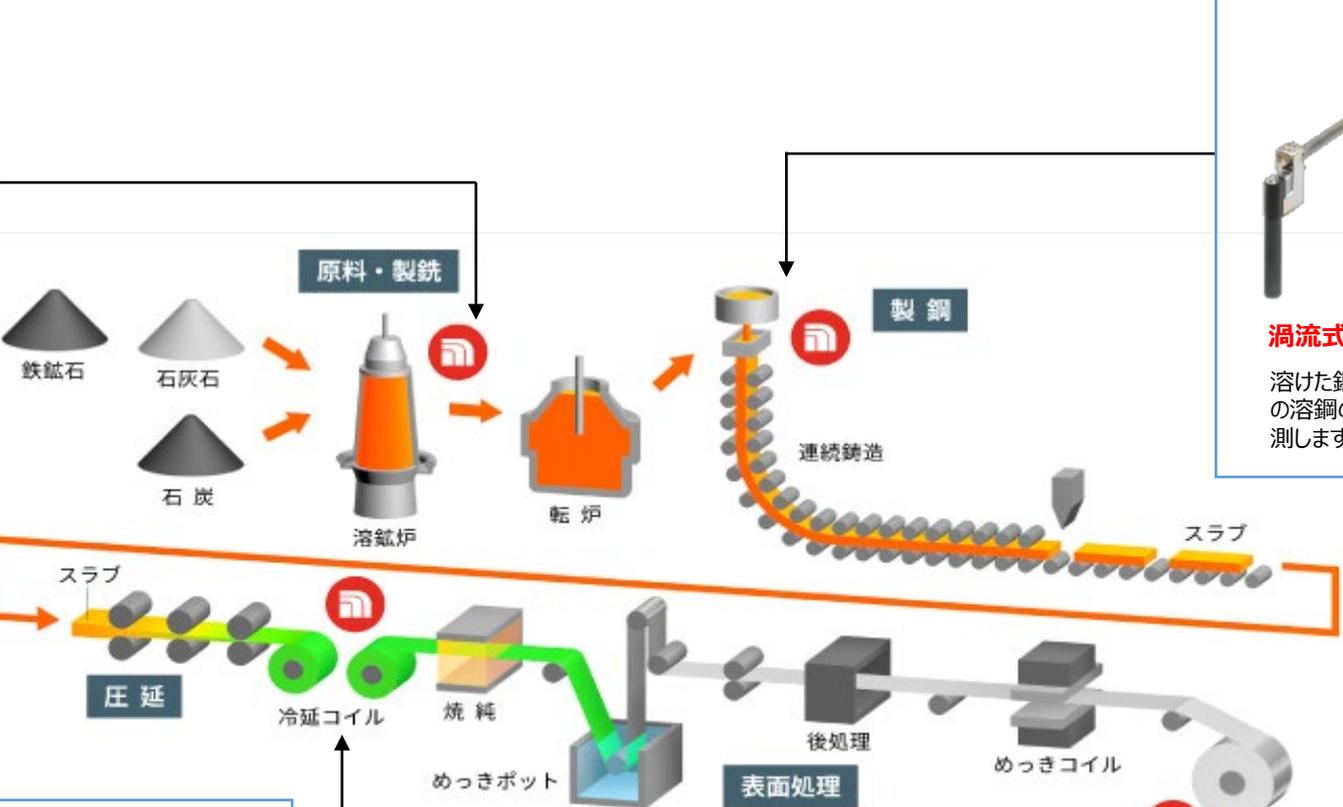
われわれは、制御、計測、検査の技術を活かした製品ときめ細かいサービスの提供により、お客様から厚い信頼を獲得し、良きパートナーとして共に成長します。さらに、パートナーシップにより生み出した価値を広く社会に応用することで、豊かで持続可能な社会の実現に貢献していきます。

プロセス事業

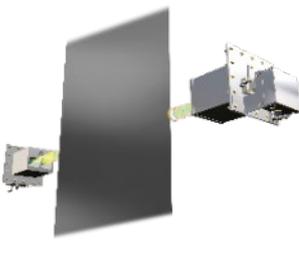
鉄鋼をはじめ、金属、ガス、化学工業等あらゆる工業における自動制御装置を扱う事業です。



プロセス制御装置
溶鉱炉内の圧力、流量、温度等の制御を行っています。



渦流式溶鋼レベル計
溶けた鋼を型に流し込む際の溶鋼の表面の位置を計測します。



耳端位置制御装置
製造ラインを流れるスラブ（鋼材）の蛇行制御を行っています。



自動識別印字装置
できあがった金属素材に様々な情報を印字しています。

ウェブ事業

主に紙・フィルム・箔等薄いシート状素材（=ウェブ）の位置制御装置等を扱う事業です。



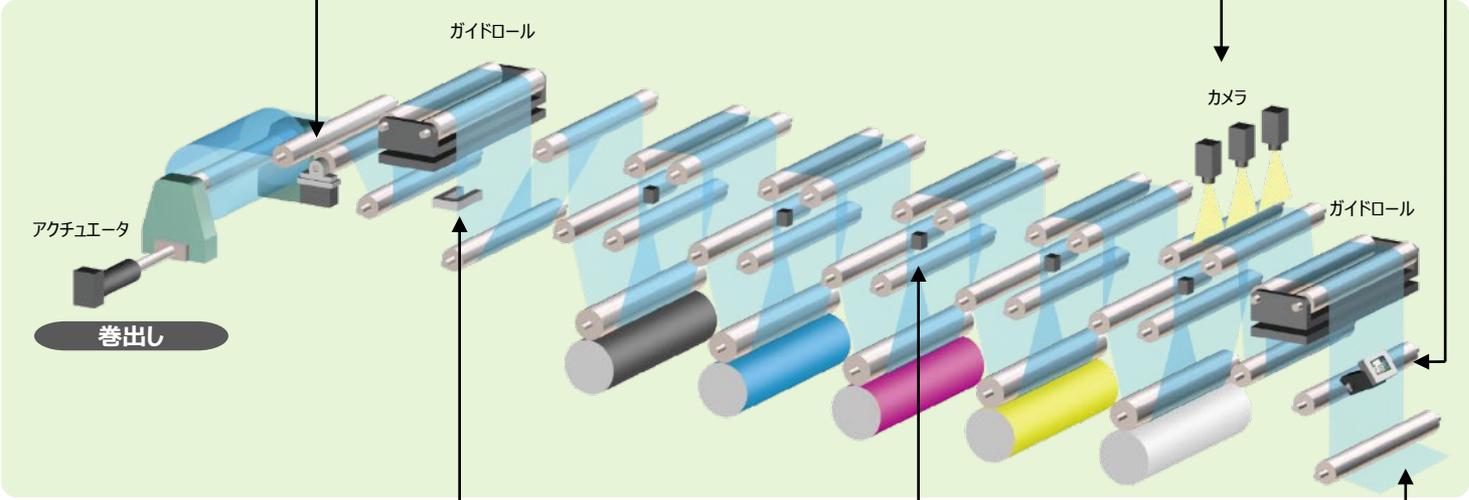
張力制御装置
ウェブの張力を一定に保ちしわ・たるみの発生を防ぎます。



印刷品質検査装置
印刷ラインの欠点を検出します。



**耳端位置制御装置
（絵柄基準）**
ウェブの規定位置を保ち蛇行を防ぎます。




**耳端位置制御装置
（エッジ・センター基準）**
ウェブの規定位置を保ち蛇行を防ぎます。



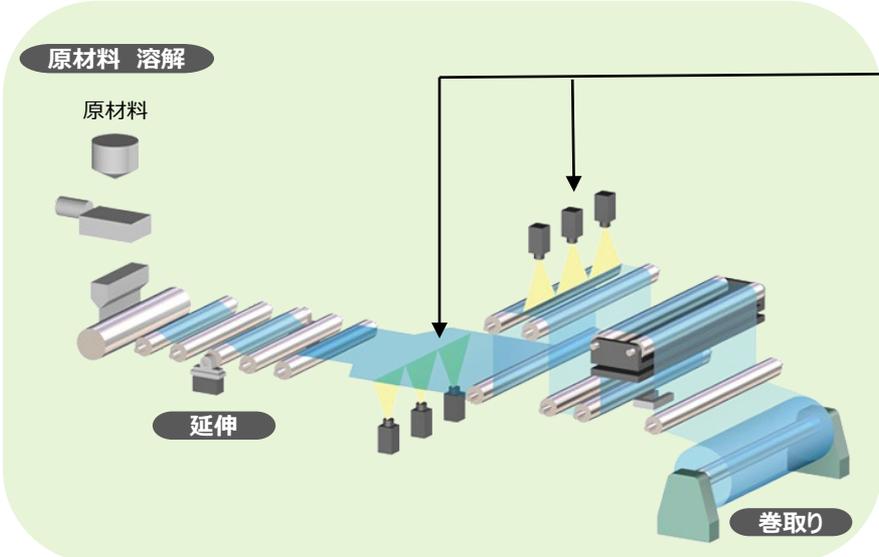
自動見当制御装置
グラビア印刷の縦横見当を自動制御します。



糊付け装置
様々な製品パターンに応じて糊付けを行います。

検査機事業

長年に渡り培ってきた画像処理技術をベースに、農産物から電子部材に至るまで幅広い製品の品質検査装置を扱う事業です。

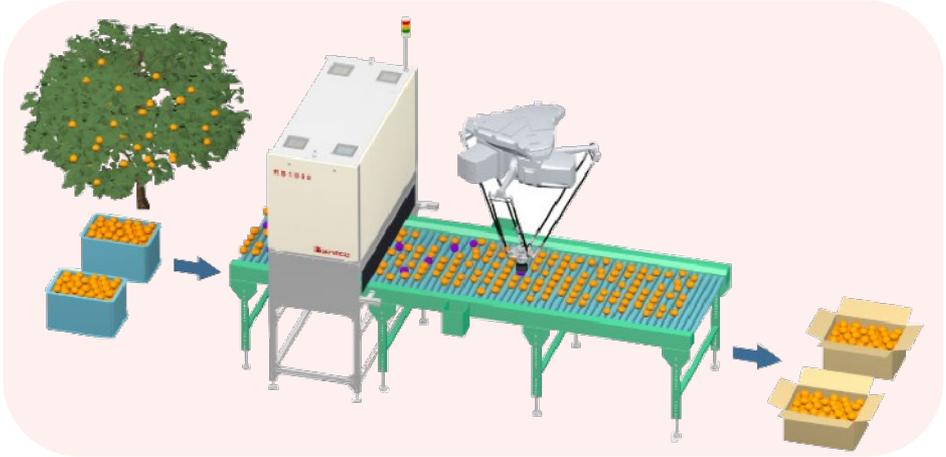


無地検査装置

あらゆる加工現場にて高速搬送されるフィルム、紙、金属といった無地素材の表面欠陥（キズ、汚れ、異物）等を検査します。

選果装置

農産物の品質を外部（キズ、腐敗、サイズ等）、あるいは内部（糖度、酸度）要因から瞬時に非破壊で判別します。



オプティクス事業

長年に渡り培ってきたレーザー関連製品やグループ会社の株式会社光学技研が取り扱う高度な技術を必要とする特殊な光学部品を扱う事業です。

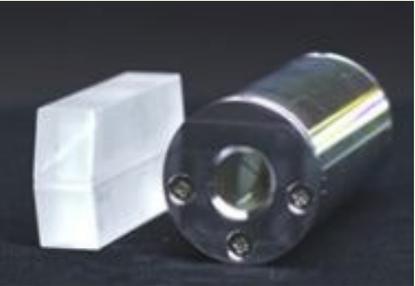
- 主要用途：
 - 半導体検査装置
 - 光学機器
 - 医療機器

光学部品



非線形光学結晶
半導体検査装置等で用いられる紫外光発生に適したCLBO素子を提供し、高い評価を受けています。

偏光子
特定の光を取り出すことのできる偏光子を、学術研究分野、光学機器分野、レーザー用途等、幅広く提供しています。



レーザー関連製品



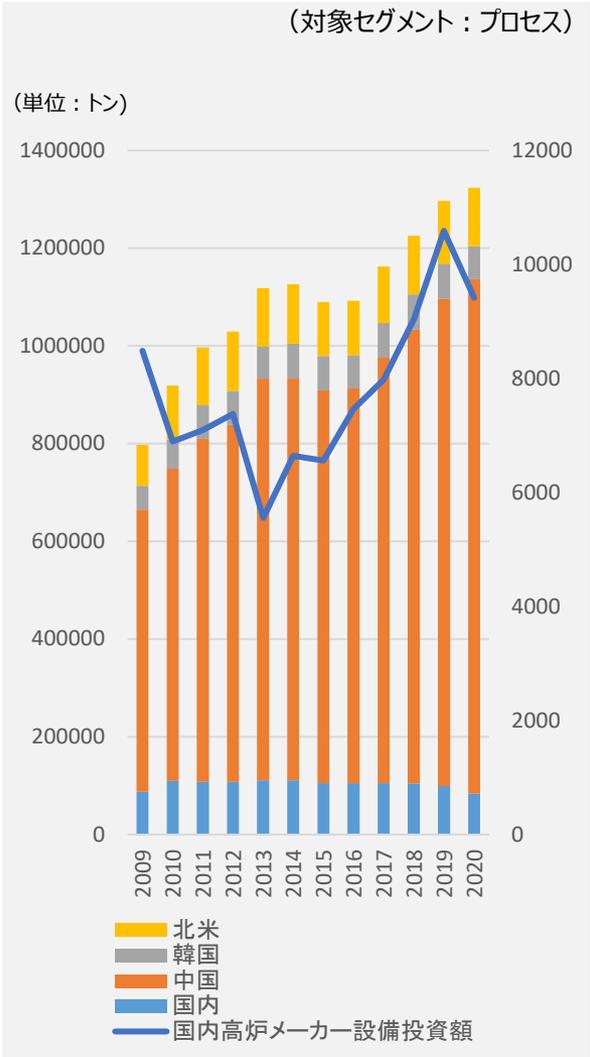
深紫外ファイバーレーザー Cygnus
深紫外ファイバーレーザーを用いたマスク検査を実現します。
定期的なメンテナンスは年1回と安定的な性能を有しています。



レーザー装置 HR-G10
高出力グリーンレーザーを用い、シリコンウエハへの加工、金属へのマーキング、樹脂内のマーキング、薄膜加工等、多用途に用いることが可能です。

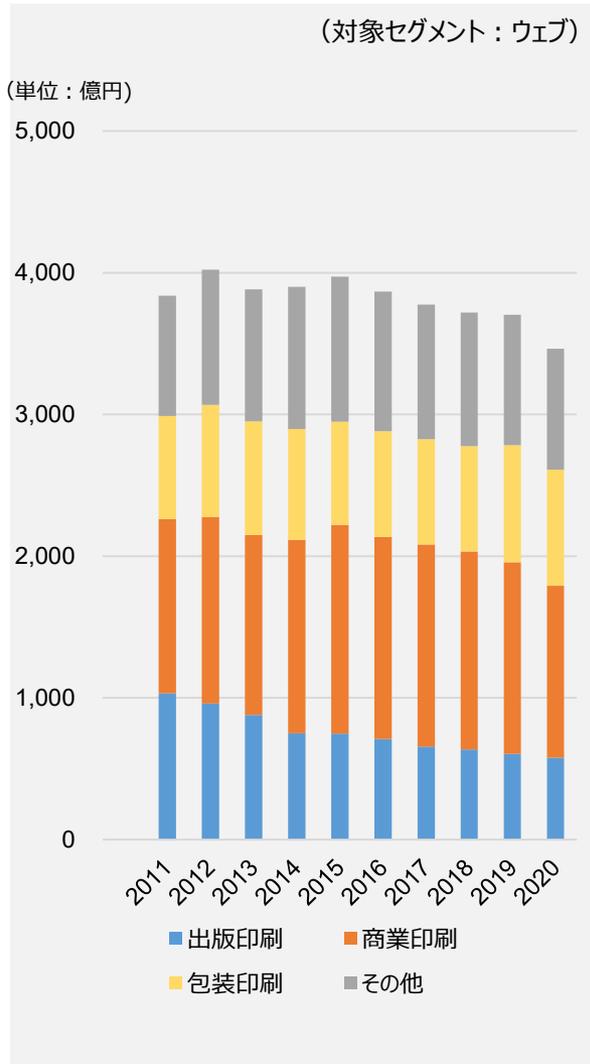
各事業市場動向

地域別粗鋼生産量及び 国内高炉大手設備投資額の推移



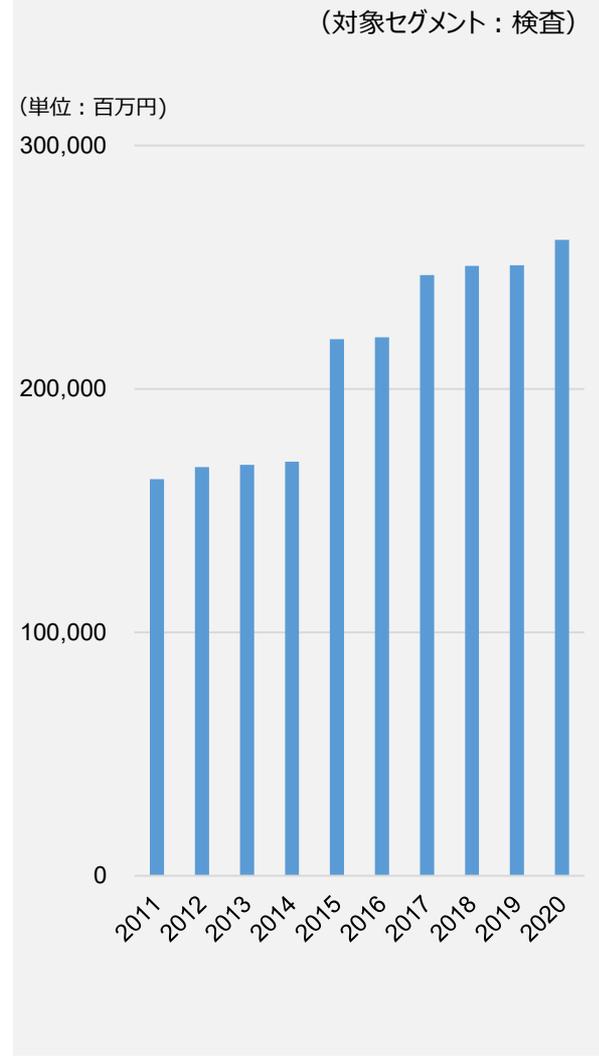
[出展：日本鉄鋼連盟]

印刷市場規模の推移



[出展：工業統計、生産動態統計より当社集計]

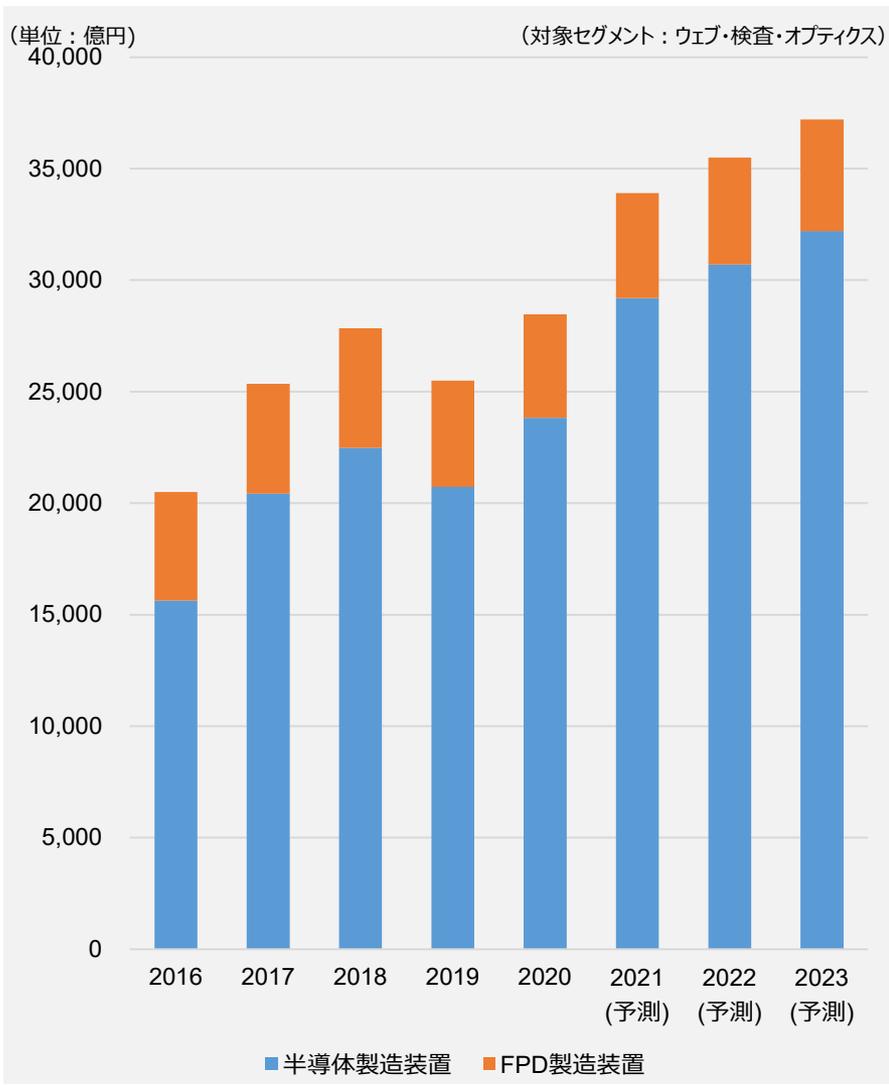
食品機械国内販売額の推移 (除、加工機械)



[出展：日本食品機械工業会資料]

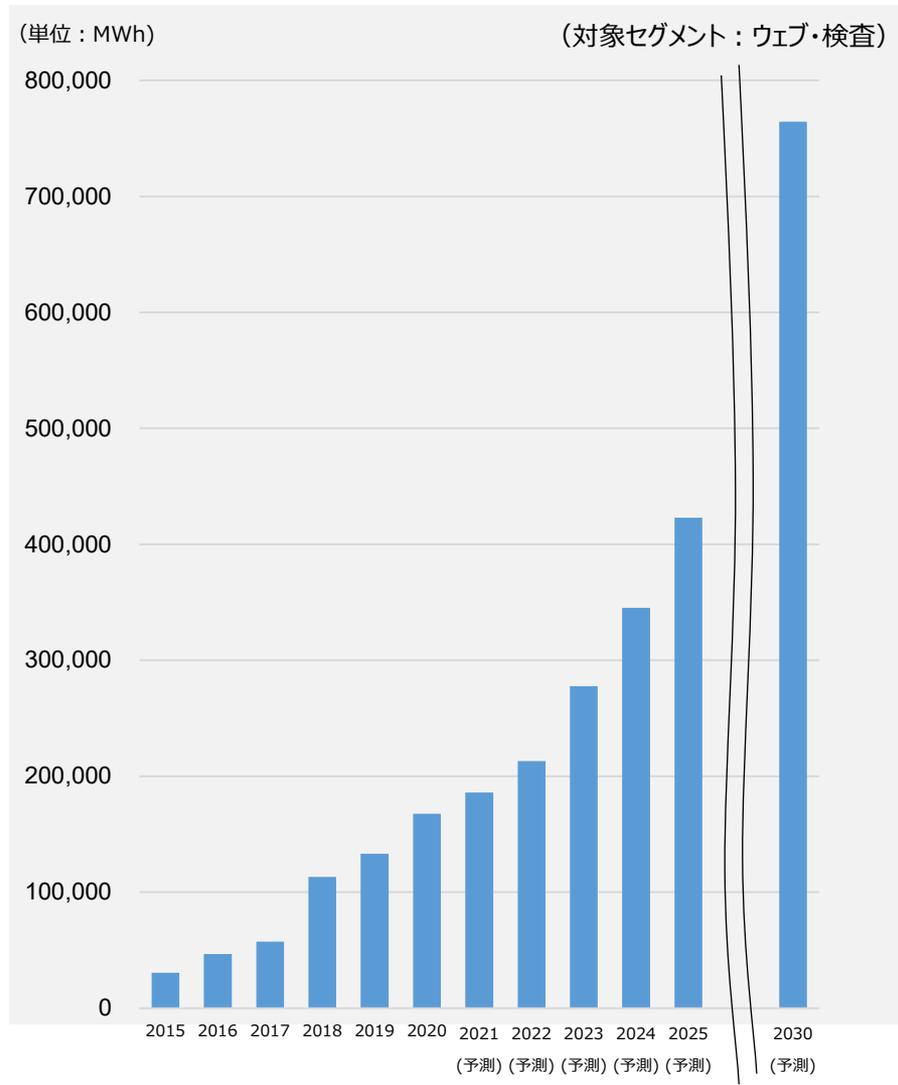
各事業市場動向

半導体・FPD製造装置需要予測



[出展：日本半導体製造装置協会]

車載用Lib世界市場予測



[出展：矢野経済研究所資料]

NIRECO